

革新都政をつくる会

通信

no,17 2020.07.02

発行：革新都政をつくる会事務局
TEL 03-5978-4031 FAX 03-5978-5052
HP <https://www.kakushintosei.net>

対話で宇都宮勝利を切り拓こう



大脇雅子弁護士（元参院議員）
からメッセージが届きました

メッセージ

いま都政に必要なのは、都民の「いのちと暮らし」を守るために、政府の顔色をうかがう大ではなく、無私に徹して生命を張れる知事です。

宇都宮健児候補は、これまで弱い大の痛みを自分の痛みとして弁護士活動をしてきた大です。

都知事には宇都宮健児候補を応援します。

弁護士 大脇 雅子

最後に参加者で、宇都宮けんじ都知事候補勝利を目指し頑張ろうと決意を固めました。児玉勇二弁護士（23期）は、メグセタで市民と野党の共闘で頑張っていると話しました。

黒岩「弁護士の会」共同代表は、「すべての小選挙区で画期的な市民選対ができ、私も初めての経験でたいへんに面白い選挙になっていく。私たちには都政を変える力がある。自己責任よりも社会的連帯、支え合いが重視される東京の実現を目標、最後の3日間奮闘しよう」と訴えました。

山添拓参院議員は「今、小池都知事が公開討論をなかなかやろうとせず、論戦から逃げていく。宇都宮けんじさんのことをもっと多くの人に知らせるため、対話、宣伝活動をあげましょう」とよびかけました。

弁護士の会などが
東京地裁・高裁前で宣伝活動

7月2日午前10時から、「希望のまち東京をつくる弁護士会」と法律事務所事務局労働者は東京地裁・高裁前で都知事選挙勝利にむけて宣伝活動をおこないました。

梅雨の合間をぬって青空の下、山添拓参議員議員と飛び入りの市民も含めて25人の参加でした。プラスタールをかかげなら裁判所のまえを通行する人に法定2号ピラマキをおこないました。宇都宮けんじさんよろしく」と訴えに、道行く人の中には「頑張ってください」「応援してます」と声をかけてくれる人もいました。

団体・地域からの活動報告



1日。雨の晴れ間の府中駅前ケヤキ通りで宇都宮けんじさんの訴えが響きました。明日の社会、子供たちへ希望の持てる都政を今こそ作りましょうと心から訴えました。立憲民主党菅直人衆院議員と日本共産党山添拓参院議員の応援、都立病院の看護師さんから独法化反対の訴えがありました。286人の聴衆が集まりました。

江東民商では、6月29日付けの商工新聞見本誌を活用した会員訪問がおこなわれています。中でも、南砂支部の松山さん（豆腐製造販売）は、事務局とともに支部のみなさんを14軒訪問し、11人と対話し宇都宮さんの支持を訴えました。婦人部も電話かけにフル回転し、支持を広げていきます。民商では、事務所に相談に訪れた業者にも宇都宮さんの支持を訴えるなどして、「声がかかっていない会員がないように」「広げてくれる人には思い切って協力を訴える」ことを軸に選挙戦を展開しています。（東商連都知事選ニュースから）

夕テ線の宣伝予定

- 労働者連絡会・新宿駅東南口宣伝
7月3日(金)17:00～
新宿駅東南口
- 青年作戦
7月4日(土)16:00～
渋谷八千公前
- 障害者の会
7月4日(土)11:00～
巢鴨駅前